

第6回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会
議事録

日時：平成24年5月29日 15時～17時

場所：建築会館 306会議室

出席者：高田（委員長：横浜国大）、中村（幹事：篠塚研究所）、新谷（福井大）、大谷（IHI）、
植竹（東京電力）、境（ハザマ）、馬場（日本上下水道設計）、静間（篠塚研究所）
（敬称略）計8名

配布資料： 日本地震工学会資料

「地震被害の軽減と復興に向けた提言－東日本大震災を受けて－（案）」

内容：報告「地震被害の軽減と復興に向けた提言（日本地震工学会）」

中村幹事（篠塚研究所）より、日本地震工学会の地震被害の軽減と復興に向けた提
言案（平成24年5月24日）について報告があった。

本委員会の成果報告の方法や範囲についての意見交換

成果報告書の内容および担当者、報告会の時期（内容は未定）、今後のスケジュール
について意見交換を行った。決定事項は以下のとおり。

<報告書項目と担当者>

- ・産業施設の現状の耐震評価や地震被害についての調査
担当者：古屋，境，大谷（産業），植竹（電力），服部（鉄道），馬場（上下水道）
- ・システム信頼性等を含めたシステム機能評価手法の調査
担当者：吉川，中村，静間
- ・システムの目標耐震性能を満たす設計法、評価法
担当者：高田，新谷，大嶋，村地
- ・序章および終章
担当者：高田

<報告会時期>

平成25年6月あたりを予定

<今後のスケジュール>

報告書について、各委員の担当分を本年11月までに概ね完成させ、来年2～3月
までに取りまとめる。

今後の予定：次回は8月28日15:00～を予定。

以上